

---

【ソフト名】	航海計画 for Excel2016 対応版
【ファイル名】	Nav.Plan5000.xls,Nav.Plan2000.xls,Ber.Plan5000.xls
【作成者】	いもとひさお ghgo2215@yahoo.co.jp
【著作権者】	作成者に同じ
【開発環境】	Windows XP 上の Excel2003 PC:P4 2.4C 自作パソコン,VAIO VGN-B90PS
【動作確認】	Windows 7,10、11 上の Excel 2007、2010、2016
【作成日】	2003 年 07 月 01 日
【最終更新日】	2023 年 07 月 09 日
【ソフトウェア種別】	フリーウェア
【利用条件】	個人としての利用に限る

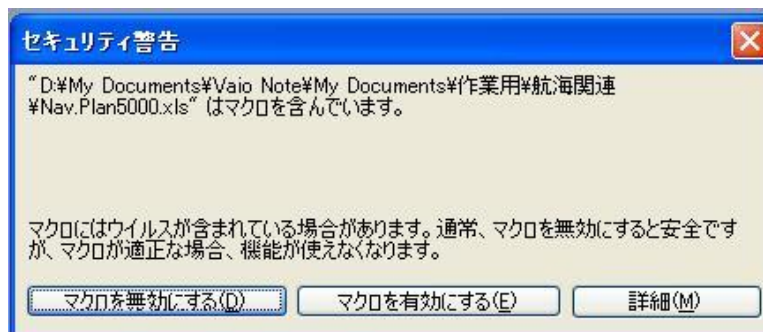
---

#### 【ソフト紹介】

東燃ゼネ石の検船において航海計画表の備え置きが義務づけられ計画表はパース to パースが要求されています。「航海計画 for Excel2003」では着離棧(Ber.Plan)と航海表(Nav.Plan)に分け上記要求に沿うよう作成、印刷画面の書式は海技大学「BRM 研修」のテキストを参考にさせていただきました。また、用語等は「ブリッジチームマネジメント」成山堂発行を参考にしています。

#### 【使用方法:Excel2003 検証】

- ① 添付ファイル
- ① 添付ファイルはサイズが大きいため「ZIP 型式」で圧縮しています。適当なフォルダー(My Documents)でファイルを解凍して下さい。
- ② 起動要領
- ① 解凍したファイルを起動して下さい。
- ② 起動時「マクロの警告」画面が出ますので Excel2003 では「マクロを無効にする(D)」で立ち上げツール(T)→マクロ(M)→セキュリティ(S)→セキュリティレベル(S)を中(M)にして Excel2003 を一旦閉じて下さい。再度 Excel2003 を立ち上げて「マクロを有効にする」を押してください。詳細は最終ページの追記を参照して下さい。



- ③ 正常に立ち上がると「入力画面」になります。

AMMTEC GROUP BRIDGE NOTEBOOK	
船名	OHMINESAN-MARU
航海次数	089
積荷状態	Full Load Condition
喫水 F:	5.0 m
A:	6.0 m
経由地	最短航路
仕出港	苫小牧
仕向港	知多港
日付	3/22
時刻	23:30
平均速力	11.8 knot
演算 船長名 編集用	
Ver 2.28M.W 2005/3/22	

#### 【Nav.Plan 解説】

Nav.Plan5000 には積地: 36 港、揚地: 76 港あり、航路数合計: 5,472 航路、半荷: 79 航路、迂回航路: 408 航路、瀬戸内: 373 航路があり総合計 6,332 航路が設定されています。

Nav.Plan2000 には積地: 25 港、揚地: 92 港あり、航路数合計: 4,600 航路、半荷: 118 航路、迂回航路: 278 航路、瀬戸内: 220 航路があり総合計 5,400 航路が設定されています。

既定航路 W.P の追加・削除及び新規航路を作成する場合は編集画面で設定出来るようにしてあります。編集画面には「W.P 表」及び「Nav.DB」マクロがあり「W.P Table」の作成及び航路の「W.P Data」「距離表」「アプログ」等が保存できます。ただしファイルの呼び出しや作成・保存を行いますのである程度の知識のある方のみ使用して下さい。

#### 1. 【Nav.Plan 使用要領】

- ① 「船名」を入力、例:「EIYU-MARU」
- ② 「航海字数」、0～365 までの整数を入力、例: 「9」→「009」になります。
- ③ 「積荷状態」をリストから入力(マウスを「積荷状態」の右側のセルに持っていくと矢印が手の形に変わりますので左クリックしてリストから選んで左クリックで確定して下さい)。
- ④ 「積荷状態」と「仕出港」「仕向港」との間には密接な関係があり、例えば「積荷状態」:[Ballast Condition](#)、「仕出港」:[長崎港](#)、「仕向港」:[菊間港](#)で「演算」を押すと画面に表示されますが「積荷状態」:[Full Load Condition](#)で「演算」を押すと「入力ミスがあります」とエラーメッセージが出ます。これは「積地」が長崎港となるため計算をする事が出来ないためです。(表示画面-1,2 を参照)
- ⑤ 喫水 F(船首)、A(船尾)を入力、例: 「1.8」→「1.8m」、「入力規則-1～10m まで」
- ⑥ 「仕出港」をリストから入力(マウスを仕出港の右側のセルに持っていくと矢印が手の形に変わりますので左クリックしてリストから選んで左クリックで確定して下さい)
- ⑦ 「仕向港」を上記同様に入力して下さい。
- ⑧ 「日付」を入力、例: エクセル書式で入力: 「6/23」

- ⑧ 「時刻」を入力、例:エクセル書式で入力:「13:00」
- ⑨ 「平均速力」を入力、例:0~20 の小数点:「13.5」→「13.5kt」
- ⑩ 「経由地」をリストから入力、通常は「最短距離」にして下さい。
- ⑪ 「船長名」を入力すると印刷画面のフッターに保存されます。船長名は毎回入力する必要はありません。例:「英雄 太郎」、キャンセルにすると初期設定の氏名になります。
- ⑫ 「演算」を押すと印刷プレビュー画面になります。
- ⑬ 「印刷(T)」をまたは「閉じる(C)」を押して下さい。
- ⑭ 「INPUT(入力)画面」に戻ります。

## 2. 【表示画面】

### ● 表示画面-1

印刷プレビュー画面、印刷(T)を押すと必要枚数が印刷され処理を終了後、入力画面に戻ります。また戻る(C)ボタンでも入力画面に戻ります

The screenshot displays a Microsoft Excel window titled 'M.T. OHMESAN-MARU BRIDGE NOTEBOOK'. The main content is a large table with multiple columns, including 'Voy No.', 'Date', 'Time', 'Ship Name', 'Route', and 'Status'. The table contains several rows of data, with some cells highlighted in yellow. The print preview shows the table being printed in a landscape orientation. The bottom of the screen shows the Windows taskbar with various application icons.

### ● 表示画面-2

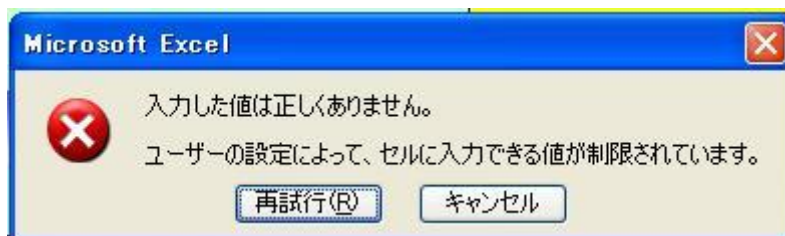
入力画面においてリスト入力の誤りでシステムが計算できないためです。上記【Nav.Plan 使用要領】⑥を参照、上記の他にも航路が無い場合も表示されます。リスト入力のデータを変更して下さい。



### ③ 【エラー画面】

#### ● エラー画面-1

誤入力を防ぐために入力規則が入っています。確認の上、再入力して下さい。または旧版では「試用期限」が過ぎています。最新版を入手して下さい。



#### ● エラー画面-2

マクロの実行エラーです。「終了(E)」を押して下さい。エラー処理をしているので特別な場合以外は出ないと思いますが常時出る時はメールでご連絡下さい。



### ④ 【編集画面】

#### ① 編集マクロ

- Editing W.P Table には最初の「INPUT(入力)」画面で演算した W.P が表示されています。「一覧表」をクリックして WP を表示して下さい。変更したい W.P No.をアクティブにして「Value1～2」を押して WP Noを入力して下さい。ただし、My WP Data は手動入力になります。
- 編集が終われば「編集マクロボタン」を押して下さい。「印刷プレビュー画面」が出ますので「印刷(T)」または「閉じる(C)」ボタンを押すと編集画面に戻ります。
- 「Speed(船速)」の太字青色フォント(L7 セル)は航海の平均速力で(L8 セル)～(L81 セル)までは二地点間の速力になります。例えば長崎港～尾道港において関門海峡の潮流が逆潮で 6kt あるとすれば平均速力 13.5kt の場合、最強時概略 7.5kt になり六連島～部埼までを略 9kt を入力すればより正確な ETA が算出出来ます。これは荒天時に於いても同様です。
- 「WP 作成画面」これは航路が無い場合。例えばドックや避難等で一時的に航路を作成

する場合に使用します。作成 W.P 数は 50W.P です。

② 【例、長崎港～尾道錨地】:Nav.Plan5000 を使用】

- 「INPUT」画面で「仕出港:長崎港」「仕向港:菊間港(尾道に一番近い港)」「積荷状態:Ballast Condition」を確定して「演算マクロ」を押します。
- 「印刷プレビュー画面」で確認してから「閉じる(C)」で「INPUT 画面」に戻り「編集マクロ」を押して「編集画面」に飛びます。
- 「編集画面」で菊間港の手前の P.No226「安芸南-2」から尾道錨地までの WP を 451～500 に入力し「Ren.DB」を押して Way. Point を更新します。
- 作成した W.P No.451～459 をコピーして P.No226「安芸南-2」の下セル(P.No227:菊間港)に貼り付けて「編集ボタン」を押すと「印刷プレビュー画面」に新しい航路が作成されます。
- Page-2 画面の最下段及び To(仕向港)には「尾道錨地」と出ます。
- 「印刷(T)」または「閉じる(C)」を押すと「編集画面」に戻ります。「Nav.DB マクロボタン」を押して航路を保存しておくで便利です。次回からは作成された WP.Data の W.P No.をコピーして「編集画面」に貼り付けると航路が出来ます。ただし W.P No.451～459 を新たに上書きすると航路が変更されますので注意して下さい。
- ~~P.No.(番号)の左セルに★印が出る時は W.P と重複名を入力していますが、W.P No.451～459 が優先します。~~

③ 一覧表

- WP-Table1 には WP No.001～450(常用航路)、WP-Table2(Nav.5000)には 501～650(錨地・避泊地)が出ます。「Value-1～2」を押すとアクティブセルに P.No.が入力されます。
- 入力セルでない場合はエラーメッセージが出て「J7」セルにセルが移動します。

④ 戻るマクロ

- 「戻るマクロボタン」を押すと「入力画面」に戻ります。

⑤ W.P 表マクロ

- 「W.P 表マクロボタン」を押すと新規 BOOK を読み込み、ファイルを作成後「印刷プレビュー画面」がでます。「印刷(T)」または「戻る(C)」を押すと「WP.Table.xls ファイルを保存しますか？」とメッセージが出ます。「はい」をクリックするとカレントフォルダーに保存されます。「いいえ」をクリックすると「編集画面」に戻ります。
- 保存場所を変更する時は「WP.Table.xls ファイルを保存しますか？」とメッセージが出ますので「いいえ」をクリックすればタスクに Book1(その時の Book を開いた回数で Book \*と変更されます)が作成されますので Book1 をアクティブ(開いて)にして「ファイル(F)」→「名前を付けて保存(A)」して下さい。
- 「INPUT 画面」で作成した航路途中での W.P の追加・削除を行う時は手元に印刷した W.P 表があれば便利です。印刷される事を薦めます。
- カレントフォルダーは使用されるパソコンのシステムの構成によって変更されます。ツール(T) オプション(O)全般 カレントフォルダー名(D)で確認できます。



⑥ Nav.DB マクロ

- 「Nav.DB マクロボタン」を押すと「WP.Data.xls は存在しません。ファイルを作成しました。」とメッセージがでます。「OK」を押すと編集画面に戻りタスクに「WP.Data.xls」が作成されています。次回からは「Nav.DB マクロボタン」を押すと「WP.Data.xls が存在しました。ファイルを開きます。」とメッセージが出ますので「OK」を押すと入力済みセルの右隣に追記されている航海データが作成できます。
- 作成したデータの P.No をコピーして「Editing W.P Table」に貼り付けて「編集マクロ」ボタンを押すと航路が作成できます。
- 作成したデータの保存場所はカレントフォルダーになります。カレントフォルダーの確認は上記を参考してください。
- 上記航路のほか「距離表：空船、満船、半荷」及び「アブログ：空船、満船、半荷」が自動的に作成できます。アブログに実時間等を記入すればデータベースとして使用できます。シートには保護が掛かっていますが PW がありませんのでその他の応用が可能です。
- Ver.1.2 よりメールウェアにしましたが「不具合」・「要望」等の連絡がなく Version up の参考にならないため、もとのフリーウェアにしました。Ren.DB マクロ
- 編集画面で Way.Point を入力したときに「Ren.DB マクロ」を押してください。メモリーを節約するために計算式を削除してありますので「Ren.DB マクロ」を押さない限り Way.Point には反映されません。

⑦ Up Date

- Editing My W.P Table に入力したデータを W.P に書き込みます。
- W.P に書き込まれたデータは「一覧表」の User Form 「My Table」に表示されます。
- My W.P Table の Value3 をクリックすると Editing W.P Table に入力できます。

⑧ 【更新間隔】

- ◇ データは都度修正、タイムスタンプを確認して出来るだけ最新版を使用して下さい。
  - ◇ 更新履歴は簡易ヘルプに記載しています。簡易ヘルプを使用するには「Office アシスタント：イルカ等」を表示するに設定して下さい。（通常は表示するになっています）
  - ◇ 旧 Version との大きい変更は「経由地」に「迂回距離」と「瀬戸内経由」を追加しましたので試用して下さい。
  - ◇ Ver.2.0 編集画面で B.ing マップを表示させました。
  - ◇ Ver.2.1 起動時、タブを非表示にして大画面表示にしました。
- Up Date をクリックするとセル M6～M64 までの計算式がクリアされ Bing Map が表示されない不具合を修正しました。

## 【Ber.Plan 解説】

Ber.Plan には 5000 型の 78 港 180 バースの着岸航路が設定されています。不足バースについては都度、追加していく予定です。ただし 2000 型についてはバース及び着岸時間等の計算が不明のため作成出来ません。どなたかご協力を頂ければ良いのですが……

着岸時間については社船の標準的な着岸計画で計算させていますが、同バースでも「入船/出船」の違いで着岸時間が変わってくるので多少の誤差は出てきますので予めご了承下さい。

3 海里以上を超える錨地からの各 Way Point の時間が正確に出なかったのが計算式を変更しました。港務通信での連絡で防波堤口等の連絡が正確になりました。

Ber.Plan には緯度・経度が表示されますので GPS に入力する事で針路・距離及び海気象による偏位が分かり操船の補助になります。特に狭水域（秋田・塩釜等）では有効です。バース名はバース前の錨地位置になり、GPS で容易に投錨できます。

### 1. 【Ber.Plan 使用要領】

- ① 「船名」を入力、例:「EIYU-MARU」
- ② 「港名」をリストから入力（マウスを「積荷状態」の右側のセルに持っていくと矢印が手の形に変わりますので左クリックしてリストから選んで左クリックで確定して下さい）。
- ③ 「航海字数」、0～365 までの整数を入力、例:「10」→「010」
- ④ 「桟橋」をリストから入力（マウスを「積荷状態」の右側のセルに持っていくと矢印が手の形に変わりますので左クリックしてリストから選んで左クリックで確定して下さい）。
- ⑤ 「錨地」をリストから入力（着岸が錨地からの時はリストから「錨地」を直行着岸の時は「空白」にして下さい）
  - (ア) データ不足で錨地位置が確定していない W.P. があります。編集画面で入力して着岸航路を作成して下さい。
  - (イ) 編集画面で錨地を入力するときは「\* \* 錨地」と錨地を入力しなければ錨地からの計算が出来ません。
- ⑥ 「着離桟」をリストから入力（着岸: Berthing、離桟: Unberthing、離桟から錨地は設定していません。必要時は編集して下さい。）
- ⑦ 「積荷状態」をリストから入力（積荷状態によって着岸時間が変わります）
- ⑧ 「日付」を入力、例: エクセル書式で入力:「6/18」
- ⑨ 「時刻」を入力、例: エクセル書式で入力:「13:00」
- ⑩ 「航海速力」を入力、例:「12」→「12Knot」
- ⑪ 「船長名」を入力すると印刷画面のフッターに保存されます。船長名は毎回入力する必要はありません。例:「英雄 太郎」
- ⑫ 演算を押すと印刷プレビュー画面になります。
- ⑬ 「印刷(T)」をまたは「閉じる(C)」を押して下さい。
- ⑭ 「INPUT(入力)画面」に戻ります。

### 2. 【編集用マクロ、戻るマクロ、WP 表マクロ】

- ① Nav.Plan5000,Nav.Plan2000 を参照して下さい。

### 3. 【更新間隔】

- ◇ マクロは都度修正、タイムスタンプを確認して出来るだけ最新版を使用して下さい。
- ◇ 更新履歴は簡易ヘルプに記載しています。
- ◇ 最後まで読んで頂きご苦労さまでした。使用方法については理解されたと思いますが、「マクロのバグ」や「データの入力ミス」等があると思いますので気付いた事があれば下記メール宛てご連絡下さい。連絡の際は「システムの構成: Windows, Excel, Version」及びエラーが出た時の状況等が必要です。
- ◇ 電話での質問等は業務に支障がありますのでご遠慮下さい。

### 【コピー】

コピー等の配布は自由ですが、下記の事項を守って下さい。

- ◇ 内容を変更しないこと。
- ◇ 配布者が責任をもって免責事項について了承を得ること。
- ◇ ビジネス目的の使用でないこと。
- ◇ 配布の際にはオリジナル以外は配布しないで下さい。一旦解凍したものを圧縮しても圧縮効果はありません。

### 【免責】

本ツールの使用によって生じたすべてのトラブルについて作者はいかなる責任も負いません。


元英雄海運株式会社

船長: いもとひさお

email: ghgo2215@yahoo.co.jp

### 【追記】



- 入力画面の「アイコン」をクリックすると簡易ヘルプが出ます。
- Excel2003 ではセキュリティを強化しているためインストール時のセキュリティは高(H)になっています。このためセキュリティを中(M)にしないとマクロは使用できません。
- Ver.1.0 では「デジタル署名」を挿入していたため「マクロの警告画面」なしで使用出来たシステムもありましたが、Ver.1.1 以降では「デジタル署名」を削除しましたので常時「マクロの警告画面」が出ます。
- Ver.2.0 編集画面で B.ing マップを表示させました。
- Ver.2.1 起動時、タブを非表示にして大画面表示に修正、B.ing マップの不具合を修正。